

## 広島・厳島の弥山に登る

11月23日～24日、健生会友の会の一泊旅行が行われた。広島までのバス旅行で目的地・宿泊地は日本三景の一つ宮島。まだ行ったことのない地だし、厳島神社の背後に聳える弥山（みせん）は岩崎元郎氏が新日本百名山に挙げた山で、天候次第では四国の高峰たちが見える、と案内書に書いてある。

ちょっぴり不純な動機も手伝って参加を申し込み、ハイキングシューズ、登山用雨合羽、小リュックにヘッドランプまで入れてバスに乗り込んだ。



町並みの後ろに厳島神社の五重塔と弥山

バスは高速道路を走りに走って、フェリーで宮島に。一行は厳島神社をガイドの説明を受けながら観てまわった。さすがに天下の宮島、観光客のなんと多いことか。

宿は栈橋から遠く離れたホテル。フロントで問うと、弥山登山口までは遠く、山頂まで片道2時間半以上かかると言う。しかも明日の朝食は7時、ホテル出立は8時とのこと、早朝の弥山登山は諦めねばならない。

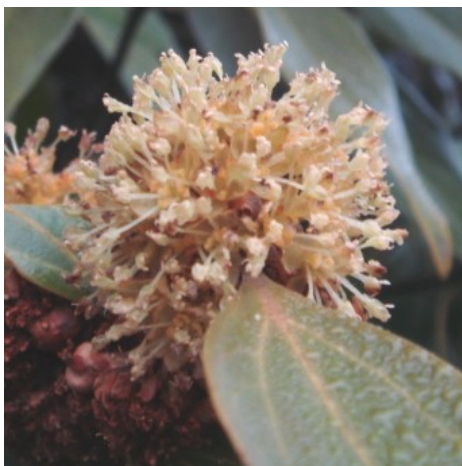
24日午前の自由時間にロープウェイを乗り継いで標高433mの獅子岩駅まで行き、そこから頂上を目指した。道は参詣道として整備されているので歩きやすいが、急峻な岩峰同士を結ぶ尾根だけに巨岩、大石が積み重ねられたようなところを登っていく。

この山は空海によって開かれた霊峰とされ、真言宗の弥山本堂をはじめ幾つかの堂宇が尾根上に在り、登山者はそれらを巡りながら歩いていくことになる。

くぐり岩をぬけると頂上で、岩峰上の小さな広場になっており、そこに3階建ての展望台が設けられている。



シロダモの実↑と花↓



残念ながら海上は霧っていて四国の山は見えなかったが、凧いだ瀬戸内海とそこに浮かぶ大小の島々が一望され、何隻かの船が航跡を白く鈍く光らせながら動いていた。見入っていると遠くから霧笛が重々しく響いてきた。

くぐり岩→



下りのロープウェイからは眼下の自然林の豊かさが見て取れた。色とりどりの黄葉、紅葉、そして早くも葉を落とし尽くした大木の広葉樹など。案内のパンフが「植物の正倉院」と誇るこの島の森と草木とを、何時かゆっくりと見てみたいものだ。



奈良への帰途、広島で「広島焼き」として知られるお好み焼きを食べ、原爆ドームと平和資料館とを見学した。原爆投下直後の街と人々の惨状には胸が詰まり、幼い頃見た長崎・浦上地域の瓦礫累々の焼野が原が思い起こされた。

核廃絶こそ、人類が地球とそこに生きるすべての生物に対してとるべき責任ある対応だと思う。「核抑止力論」などは詰まるところ、自分たちさえ良ければいいという利己的考えなのだ。

←弥山・山頂広場

## 土庫病院友の会ハイキングクラブ（後日「山歩きクラブ」と改称）の ハイキング講座第一回「ハイキングの基礎」

とき 2010年1月16日（土）

午後2時～4時

会場 大和高田市日之出町

健生荘2階多目的室

（土庫病院から徒歩1分）

講師 オオヤマレンゲ山の会役員

門田正博さん

主催 土庫病院友の会ハイキングクラブ

&オオヤマレンゲ山の会 共催

参加費 500円（友の会会員およびオオヤマレンゲ山の会会員は300円）



広島・原爆ドーム

山の歩き方、地図の読み方、日常のトレーニングなど基本的な勉強をします。

テキストは勤労者山岳連盟編「ハイキングABC」

どなたでも参加できますが、12月末までに土庫病院友の会事務局（電話&ファックス0745-22-2989）にお申し込み下さい。

以上108号